



第6章 地域連携研究と研究成果の発信

木村, 修二

(Citation)

歴史文化に基礎をおいた地域社会形成のための自治体等との連携事業, 20 (2021 (令和3) 年度事業報告書) :71-72

(Issue Date)

2022-03-28

(Resource Type)

report part

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81013442>



第6章

地域連携研究と研究成果の発信

地域連携センター年報

『LINK【地域・大学・文化】』の刊行

2021年12月28日付で第13号を発行した。特集「歴史研究の隣人たち インタビュー・シリーズ2」（インタビュー2本）を組んだ。そのほか、論考1本、フィールドレポート2本、「LINKを読む」を2本、時評・書評・展示評を2本掲載し、ページ数は158頁となった。構成は以下の通り。

特集「歴史研究の隣人たち インタビュー・シリーズ2」

特集にあたって（木村修二）

第I部 山崎比呂志氏（新書編集者）

インタビューへのまえがき（古市）

インタビュー（古市司会）

小山啓子氏「インタビューに参加して」

第II部 やまだのりこ氏（一級建築士（あとりえ。代表）

市沢哲氏「生活知と専門知が交差するところ」

インタビュー（市沢司会）

井上舞氏「インタビュー参加記」

村井良介氏「二つのインタビューによせて」

論考

室山京子氏「近世後期金銭貸借訴訟をめぐる旗本屋形池田家と領外商人―播磨国神西郡森垣村龍野屋伊兵衛長英の活動を中心に―」

フィールドレポート

大下朋子氏「『猪名川の古文書を楽しむ会』の活動について」

門馬健氏「資料保全活動から生まれた博物館―とみおかアーカイブ・ミュージアム」

LINKを読む

廣田浩治氏「地域歴史遺産と日本中世地域史」

内田俊秀氏「小特集「襖・屏風下張り文書の保全と活用」を読んで」

時評・書評・展示評

本井優太郎氏「書評：『口吉川の歴史』（新三木市史地域編6）」

桐島和大氏「『兵庫県立考古博物館夏季企画展「淡路島発掘」を観て」

活動報告

佐々木和子氏「サンテレビ震災報道映像の公開」

河島裕子氏・横山朋子氏「オンラインを利用した古文書初級講座」

木村修二「人文学研究科架蔵文書群の紹介（10）」

（文責・木村修二）

地域連携センタースタッフによる

日本学術振興会科学研究費助成事業

- 2019年度～2022年度科学研究費助成事業・若手研究（B）「近世公家領における領主支配の研究―近衛家領伊丹郷町を事例に―」（研究代表者・加藤明恵）
- 2018年度～2020年度科学研究費助成事業・研究活動スタート支援「天保～安政期における平野郷町の改革と領主支配」（研究代表者・松本充弘）

- 2020年度～2022年度科学研究費助成事業・基盤研究(C)「日本中世の地域秩序および地域政治史の展開に関する研究―播磨国を中心に―」(研究代表者・市沢哲)

講演会・市民講座等

姫路市大塩公民館文化講座での活動

毎月第4水曜日10～12時に開催している、姫路市大塩公民館文化講座「古文書サロン」において、室山京子が松下正和とともに講師を勤め、江戸時代の大塩地区の地域史料を読み解き、情報交換をする活動に取り組んだ。

(文責・室山京子)

姫路市立生涯学習大学校での講義

2021年4月9日、4月23日、8月27日に、2年郷土史「江戸時代の村びとの暮らし～くずし字に親しもう～(1)～(3)」で室山京子が講師をつとめた。

(文責・室山京子)

いなみの学園での講義

2021年4月22日、兵庫県いなみ野学園において、「兵庫の偉人～柳田國男とその兄弟～」と題する講義を行った。

(文責・井上舞)

笠岡市中央公民館自主講座での講義

笠岡市中央公民館(岡山県)自主講座「古文書を読み解こう」で、室山京子が講師を勤めた。毎月第4日曜日13時半～15時。

(文責・室山京子)

神戸婦人大学での講義

2022年1月6日、神戸婦人大学において松本充弘が「神戸村の庄屋事情―江戸時代の古文書を用いて―」と題した講義を行った。

(文責・松本充弘)